

気温・降水量をディスプレイに表示する。

(エ) 一般生活への利用

気象データを加工して、ビール指数、日焼け指数、肌荒れ指数、その他レジャーなど日常生活に必要な気象データをディスプレイに表示する。

7. 予報の方法

民間気象会社に要望されるのは、主として局地予報である。たとえば、東京都〇〇区〇〇町で、〇〇時にどのような天候になるかを知りたいという類である。これがゴルフであったりサーフィンであったりする。このような需要のために第三者が気象予報の業務を行う場合には、気象庁長官の許可が必要であることを、気象業務法が規定している。すなわちデータメタな予報が横行して社会に混乱を来さないためである。当社の予報の基礎となる資料は、気象庁から送られる各種の予報データ、アメダス、レーダー、ひまわりの画像など数多いが、局地気象はその場所の地形、風向、その土地のくせなど、多くの因子によって大きく左右される。これらを統計的・物理的にコンピュータ処理して、システム化して結果を出すように技術開発した。しかし、最終的に判断し予報をするものは、マシンでなくてマンであるとする。このことから予報技術の修練を心掛けていることは、い

うまでもない。

8. 民間気象会社の使命

現在の情報化社会において、気象データを情報として要望するニーズは日毎に高まっている。河川情報センターの設立にみられるように、農水、通産、運輸、防災の各分野の情報伝送のシステム化は急速に進んでいる。

当社は民間の気象会社として、あらゆる分野のニーズに即応できるようなシステム構築を進めてきた。しかし、社会のニーズはさらにこれを上廻る速度で高まっている。

ここで民間気象会社としての使命は、これらのニーズに対して、質の高い気象情報の提供と、顧客の身になって考える親切なサービスにあると思う。そのためには、気象庁その他による基礎情報の公開を、従来通り受けることも必要であるし、また新しい情報を国外に求めることも必要である。また予報技術の進歩の流れを把握し、新しい予報技術を習得し、自らも研究活動を行うことが必要である。

幸い当社は、世界各国にホットラインを持ち情報入手のネットを持つ。民間気象会社の使命達成のために、今後も努力したい。

半乾燥地域における対流性降雨に関するシンポジウムの論文募集のお知らせ

会 期：1987年12月14日(月)～18日(金)の5日間

場 所：イスラエル共和国 イエルサレム

主 催：イスラエル気象学会、アメリカ気象学会

論文のテーマ：(口頭またはポスターによる発表)

- (1) 衛星、レーダー及び雨量計から観測される対流雲、降水セル及び降雨量の特性
- (2) 数値モデルによる対流雲と降水セルとの相互作用

のシミュレーション

- (3) 対流雲と降雨の空間平均効果に関するパラメタリゼーションとそのスキームが大循環モデルで用いられるとき半乾燥地域で得られる結果の解釈

題名及び概要は1987年6月15日まで。

詳細は 気象研究所衛星研究部 青柳二郎 までお問い合わせ下さい。